柏尾町地区 地域緑化計画書

計画名:柏尾町平戸永谷川下流渡戸橋左岸「緑花計画」

推進団体名: 柏尾町 水辺花とみどりの会



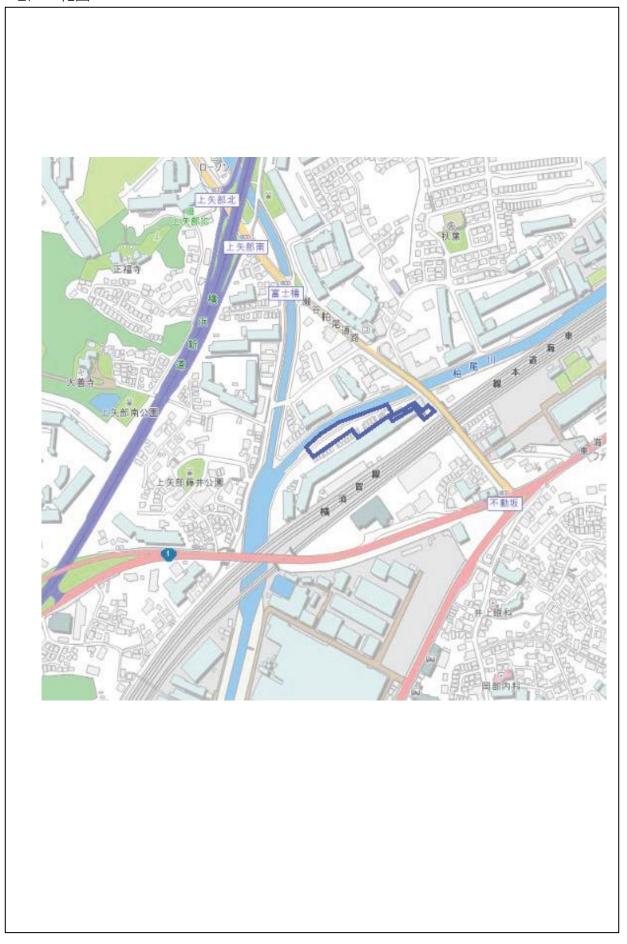


●渡戸橋から広場方面を望む



●広場から渡戸橋方面を望む

●駐輪場に隣接する計画地(右側)



計画期間	令和5年度 ~ 令和7年度					
計画の目標	《提案計画の目標》 水辺を背景とした花と緑溢れる緑地づくりを通して世代を超えた交流を図る <具体的な目標>					
	①水辺プロムナードに魅力的な拠点をつくる 多方面から視認できる配置で散策者の吸引力を高め、春から冬へ季節の移ろいが感じられる緑環境を実現し、一年を通じて楽しみな魅力ある拠点をつくります。 ②未来に向けて持続可能な緑環境の管理を計画する 一年を通じて楽しめる多年草と一年草の組合せを工夫し、維持管理と労力の負担軽減を図ります。 ③緑と水辺を愛する人達が集う場づくりと後継者の育成 花や緑が好き!園芸に興味がある!植物にも人にも居心地がいい花壇づくり を通して活動の周知や講習会の参加を促し、後継者育成や人材の確保を図ります。					
目標達成のための方 法および地域にもた らす効果	「目標達成の方法> 花壇は河川のプロムナードに沿って設置されており、ボランティアで定期的な清掃及び除草活動を始めました。また、自主的活動として花の植栽を始めましたが、活動に必要な人材確保(会員)と必要経費の獲得が急務で、あまり手のかからない継続的な維持管理ができる場づくりを目標にしました。会員も来訪者も見て・触って楽しめる花壇づくりに誰でも参加できること。この活動を通して知識の向上・技術の習得を学べる講習会等に参加し、花や緑に愛着がわくような体験と面白さを習得していただき、そのまま家庭に持ち帰り日々の日課となり、趣味となって友人・隣人を通して地域へと輪が広がっていく事が目標です。緑化整備計画地の奥には広場がありますが、ここの管理までは手が届かない状況です。今回の計画を見て・参加して、居住区の人達が・利用する子どもたちが「緑や花いっぱいのまちをつくりたい」という環境美化意識の向上に期待し、この地域緑化計画を通して目標を達成したいと思います。 く地域にもたらす効果>住民の交流を深めることを基盤としながら近隣住民の理解と協力の基に、周辺地域の緑環境が生まれ変わります。異なる世代間の交流も生まれ、環境保全と子ども達にも安心・安全な集いの場・憩いの場を提供し、地域ぐるみの緑化活動へと拡大し、さらなる交流が期待できます。 自然とふれあい、四季の移ろいを感じさせる、見る人目線で配置した花壇づくりを目標に、花や緑が好きな人・緑と水辺を愛する人達が集う水辺プロムナードの拠点をつくります。 年間を通して楽しめる多年草と一年草の組合せ、場の印象をかえる配色で、花と緑を楽しむ人に安らぎと園芸に趣味を持つ人のヒントになるような景観を提供します。愛好家が増えることを目標に、まちの美化を提供し、活性化を目指します。					

・水辺愛護会の活動を母体として、緑地化整備候補地に隣接する住民をはじめ、 居住区の自治会・子ども会に協力を仰ぎ、プロムナードの来訪者には積極的に 声掛けをして門戸を拡げ、人材確保に努め、持続可能な組織づくりを目指しま す。 組織づくり ・役員の役割を明確化し、会員が円滑に活動できるよう、丁寧な話し合いを通じ て分担して活動し、徐々に主体性のある協力体制の構築を目指します。 ・役員会・定例会(2ヶ月に1回)を開催し、報告の徹底と、誰でも活動の目的・ 内容を共有し、提案できる組織づくりを目指します。 <民有地緑化> 水辺プロムナードに魅力拠点をつくる。 鑑賞時期を考慮して旬の花をポイントに季節の移ろいを見て感じ取れる花壇づ くりを計画します。来訪者の関心を向上させ、活動への参加を促し交流の輪を 拡げます。 <地域緑化活動> 計画期間中の緑化 ・楽しいイベントや講習会を窓口に、定期的な苗植えなど、少しずつ関りを深め 整備及び活動の ていけるような段階的な活動の組合せを工夫します。企画の上手な方を求めネ 概要について ットワークなどを構築します。 ・計画地に My Garden を計画します。希望者が約1㎡程度のスペースを自由な発 想で、好きな花を栽培するための計画です(3年目自費事業)。 この活動を通して家庭でも花や緑を育てるようになり、地域内に花や緑が好き な人が増えることが期待できます。但し、全体の調和を図るために最小限のル ールを設けます。 ・「体験・交流・発信」する場づくりと「Keep Clean」持続可能な管理活動を行う。 ・継続して緑環境を維持できるよう、経費削減や労力軽減を計画します。 母体である水辺愛護会の活動で清掃及び除草を定期的に実施し、よこはま緑の 推進団体より花のタネの提供と花苗の支援を受け、費用負担の少ない活動を継 続します。 計画期間終了後の ・隣接する居住区の敷地内に雨水貯留タンクを設置し、水やりのサポートを行い 活動について ます。 ・活動期間中に講師による研修会で得た知識・技術を基に講習会を開催し、担い 手の育成と受講者の居住する地域へと展開されるように緑の活動を支援しま す。 ・ボランティア活動です。基本的には資金の余りかからない活動を目指します。 ・活動資金(寄附金・協賛金など)を募る努力をします。 ・講師による講習会の参加者から緑化活動協力金として徴収します。 資金計画

計画年次	計 画 内 容				
1 年度目 (令和 5 年度)	 〈民有地緑化〉 ・区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eに土壌改良、花壇整備、ロープ柵の設置を行う。 ・区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eを工事し、多年草と一年草を組合せて定植する。 〈地域緑化活動〉 ・区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eの花苗を植え替える。・隣接する駐輪場に物置を設置する。・区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eに種蒔きと球根を植える。案内板設置・定期的な拠点の緑化維持管理活動(月1~2回)ほか清掃及び除草(随時)活動を行う。 ・後継者育成を目的に花木管理を学ぶため、講師による研修会を開催(年2回)する。 ・民有地緑化を行った場所の維持管理のスキルアップと仲間を増やすため、講師による園芸講座を開催(年2回)する。 ・本会の活動を周知するためのチラシを制作し、広報活動(年3回)を行う。 				
2年度目 (令和6年度)					
3年度目 (令和7年度)	 ◆地域緑化活動> ● 緑化整備後の維持管理を行う ・My Garden の活動をサポートする。 ・区画:A~区画:Fの花苗を植え替える。 ・区画:A~区画:Fに種蒔きと球根を植える。案内板を設置する。 ・定期的な拠点の緑化維持管理活動(月1~2回)ほか清掃及び除草(随時)活動を行う。 ・後継者育成を目的に花木管理を学ぶため、講師による研修会を開催(年2回)する。 ・民有地緑化を行った場所の維持管理のスキルアップと仲間を増やすため、講師による園芸講座を開催(年2回)する。 ・本会の活動を周知するためのチラシを制作し、広報活動(年3回)を行う。 				
創意工夫	・団体管理の基「花が大好きな人」へ活動の場として、小さな花壇を設置し運営する。 春~秋・秋~春の入換え制で行い、愛好家が集い活動の輪を拡げる計画とする (3年目自費事業)。 ・プランターでタネから育成し、花苗の補充で管理活動にお ける費用削減と活動の継続性を推進します。花苗を育成する苗床(プランター・育苗 用のポット)をフェンスに沿った場所に配置し、管理栽培します。 ・草の繁殖防止にグランドカバーを施し足元が緑化され、景観の修景を創造します。				













柏尾町 水辺花とみどりの会

<多年草と一年草との組合せ>







概算事業費(単位:千円) (注1,5)

助成項目	細目	1年度目(令和5年度)	2年度目(令和6年度)	3年度目(令和7年度)	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限
1 民有地緑化	①設計等経費	600	0	(600	
		(主な内容) ①区画:Aから区画:Fまでの土壌改良および緑 化工事の設計	(主な内容)	(主な内容)		100%以内
	②緑化整備等経費(注2)	2,918	1,674	(4, 592	
		(主な内容) ①緑化計画候補地、区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eの土壌改良工事 ②花壇付帯工事(ロープ柵の設置他) ③区画:A・区画:B・区画:C・区画:Eの植栽工事及び関連作業 ④諸経費	(主な内容) ①緑化計画候補地、区画:D・区画:Fの土壌改良工事 ②花壇付帯工事(ロープ柵の設置他) ③区画:D・区画:Fの植栽工事及び関連作業 ④雨水貯留タンク整備 ⑤諸経費	(主な内容)		90%以内
	合計額	概算事業費 3,518	1,674	概算事業費 0	5, 192	
	(注9)	(3, 226)	(助成見込額) (1,506)	(助成見込額) (0)	4, 732	
2 景観木保全	①調査費	0	0	(100%以内
	②診断書作成費	0	0	(100%以内 (上限20千円/本)
	③治療費	0	0	(3と④は各景観 100%以内 (上限50千円/ 本1本につき、
	④環境整備費	0	0	(合計50千円以内 (上限50千円/ 本)
	合計額 (注9)	概算事業費 0	概算事業費 0	概算事業費 (0	
		(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	0	
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	460	460	460	1,380	100%以内
	②広報・研修費	400	400	400	1,200	①~④の合計 100%以内
	③事務費	100	100	100		1,000千円以内 /年度 100%以内 (上限100千円/ 年度)
	④諸雑費	40	40	40	120	100%以内 (上限40千円/ 年度)
	合計額	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	概算事業費 1,000	3,000	
	(注9)	(助成見込額) (1,000)	(助成見込額) (1,000)	(助成見込額) (1,000)	3,000	
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)		概算事業費 4,518	概算事業費 2,674	概算事業費 1,000	8,192 総合計	助成見込額の3年度の
		(助成見込額) 4,226	(助成見込額) 2,506	(助成見込額) 1,000	7,732	総合計が15,000千円以内

- (記入時の注意事項) 注1:各細目には、<u>提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費(予定金額)</u>を記入してください。計画がない項目や細目は、0(ゼロ)を記入してください。
 - 注2:民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。(助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。)
 - 注3:地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注4: 民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注5: 千円単位で記入してください。 (なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。)
 - 注6:本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
 - 注7:年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。(年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。)
 - 注8:上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。 (2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど)
 - 注9:各項目内における細目の合計欄には、概算事業費(予定金額)と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、()を付けてください。